

第 1150 回放送分『甲状腺疾患』3 回目

ゲスト：中条哲浩ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、「甲状腺疾患」についてお送りしています。

お話は、鹿児島大学乳腺甲状腺外科 中条哲浩（なかじょう あきひろ）ドクターです。

中条さん、どうぞよろしくお願いいたします。

中条哲浩Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

今日は何についてお話しいただけますか？

中条哲浩Dr.

今日は甲状腺のがんについてお伝えします。

二見いすず

甲状腺のがんについては先々週、放送の最後に少しだけお話しいただきましたが、

他のがんと違って、一部のがんをのぞいてゆっくり進むということでしたね。

よく、乳がんや胃がんなどの検診は、

1 年に 1 回は受けるようにしましょうと言われますが、

甲状腺に関しては 1 年に 1 回の検診は必ずしもしなくてもいいということなんですね。

中条哲浩Dr.

早く見つけることに越したことはないですが、

たとえ自覚症状を含めて検診以外の検査などで見つかったから治療を始めても、予後は変わりません。

その点は、他のがんと違うところだと思います。

二見いすず

なりやすい年齢というのは何歳くらいなのでしょう？

中条哲浩Dr.

30 代後半から増えて、70 代がピークです。

がんは若い人だと進行が早い印象がありますが、

甲状腺のがんは、若年者ほど予後が良好で、若い人で亡くなる方はほとんどいません。

毎年の検診は必要ではありませんが、首にしこりを感じたら、

早めに専門医に相談するようにしてください。

甲状腺のがんには、色々なタイプがあります。

二見いすず

そうなんですね。

中条哲浩Dr.

一番多いのが、乳頭がんで、8割ほどの人はこのタイプです。

進行はゆっくりで、大きさが変わらないことも少なくありません。

そのため、1センチになるまでは様子をみます。

1センチをこえると手術になります。リンパ節に転移することもあります、
それであっても手術後の成績は良いです。

二見いすず

8割の方が乳頭がんというタイプなんですね。

このタイプだとそこまで悲観的になることはなさそうですね。

残りの2割は、どのようなタイプになるのでしょうか？

中条哲浩Dr.

乳頭がんとできかたが似ているものに濾胞がんというものがあり、

これは全体の5%ほどです。血液の流れにのって他に転移することもあります、
こちら術後の成績は比較的良いです。

二見いすず

はい。

中条哲浩Dr.

あとは、低分化がん。これは全体の10%ほどで、
転移しやすく再発しやすい傾向があります。

その他には髄様がん、甲状腺リンパ腫などがあります。

もっとも気をつけたいのが、未分化がんというものです。

全体としては1%未満ではありますが、高齢者に多く、急速に増大して進行が早いため、
きわめて予後が不良です。

しこりに気づいたときは早めに受診をしていただきたいのですが、特に急に大きくなったと感じたときは、
すぐに受診するようにしてください。

二見いすず

よく分かりました。

今月は「甲状腺疾患」についてお送りしています。

お話は、鹿児島大学乳腺甲状腺外科 中条哲浩ドクターでした。

中条さん、ありがとうございました。

中条哲浩Dr.

ありがとうございました。